



発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



大阪市教は「24年度末人事・定員要求書」提出交渉を10月

年度末人事・定員要求書提出 希望尊重、定数改善を

22日行いました。市教委は「異動年限等の基本方針は、昨年度と同様の方針で人事異動を実施する考え」とし、今後、折衝・交渉を行います。現在の欠員数は小学校43人、中学校9人(10月1日現在)となっております。「本務教員による欠

員補充制度(特別専科教諭)、法律に基づく教員定数に加え、市独自に本務教員を採用し、令和6年度は小学校50名、中学校15名を配置し、10月1日時点で、小学校で36名の兼務発令、14名の継続配置、中学校で13名の兼務発令となっております(来年度



大阪市の定数改善(要求書)を求めました。大阪市の定数改善(要求書)を求めました。

「欠員補充を速やかに行うこと」「教員一人当たりの授業時数の上限設定」「国に基礎定数の改善、大阪市の定数改善(要求書)を求めました。」

「先生方は、ご自身作られた教材等様子を拝見していただき、ぜひ子ども達にこの方法で指導していただきたいと思われました。月曜日に子ども達に会うのが楽しみにしているような集会に参加させていただきます。ぜひご参加ください。」



「あかんやろ!カジノ女性パレード」が10月14日、新阿波座公園から難波までの御堂筋で行われ、大阪市教女性部も参加しました。

カジノ用地格安賃料監査請求意見陳述が10月17日に行われました。月額2.6億円安く設定され、損害が契約終了の2058年まで毎月続く」と指摘しました。

大阪教 教研

平和のために戦争を語り継ぐ 子どもたちに会うのが楽しみ

平井美津子さんの記念講演



「心は傷を負った人間もいる。語りたくない人、語れない人もいる」。私も昔、夏休みの宿題で戦争のことを子どもに聞いてくることを宿題に課したことを思い出して。

「教員はクリエイターである」。学びは

「心は傷を負った人間もいる。語りたくない人、語れない人もいる」。私も昔、夏休みの宿題で戦争のことを子どもに聞いてくることを宿題に課したことを思い出して。

「心は傷を負った人間もいる。語りたくない人、語れない人もいる」。私も昔、夏休みの宿題で戦争のことを子どもに聞いてくることを宿題に課したことを思い出して。

「心は傷を負った人間もいる。語りたくない人、語れない人もいる」。私も昔、夏休みの宿題で戦争のことを子どもに聞いてくることを宿題に課したことを思い出して。

「心は傷を負った人間もいる。語りたくない人、語れない人もいる」。私も昔、夏休みの宿題で戦争のことを子どもに聞いてくることを宿題に課したことを思い出して。

「心は傷を負った人間もいる。語りたくない人、語れない人もいる」。私も昔、夏休みの宿題で戦争のことを子どもに聞いてくることを宿題に課したことを思い出して。

大阪市教第33回教育研究会が10月19日開かれ60人が全体会・分科会で学び合い、交流しました。

講演では、平井美津子さんが、日本軍「慰安婦」問題や沖縄戦の解説を中心に、歴史を学ぶようになったきっかけや現場での授業実践を話しました。

「種をまいていく」。教師が大切だと思ったことを伝え続けていく。遠い未来でもどこかで花開くことを夢見て頑張りたい。

「種をまいていく」。教師が大切だと思ったことを伝え続けていく。遠い未来でもどこかで花開くことを夢見て頑張りたい。

「種をまいていく」。教師が大切だと思ったことを伝え続けていく。遠い未来でもどこかで花開くことを夢見て頑張りたい。

「種をまいていく」。教師が大切だと思ったことを伝え続けていく。遠い未来でもどこかで花開くことを夢見て頑張りたい。

「種をまいていく」。教師が大切だと思ったことを伝え続けていく。遠い未来でもどこかで花開くことを夢見て頑張りたい。

「種をまいていく」。教師が大切だと思ったことを伝え続けていく。遠い未来でもどこかで花開くことを夢見て頑張りたい。

仲間が増えた!

産休の問題で相談、2人で加入 共済カフェで仲間を増やそう

AさんはパートナーのBさんの産休取得問題で職場の組合員に相談しました。「それなら本部で相談しましょう」ということになり、2人で書記局に来ました。相談の中で「組合はすぐに市教委とやりとりをしますよ」と加入を勧め、Aさんの後押しもあってBさんはその場で加入書を書きました。さらに「私もいろいろあるので加入します」とAさんも加入を決意しました。同時加入。大喜びの結果となりました。

大教済では「共済カフェ」のとりくみを行っています。忙しい日常の中で、少しほっこりしながらおしゃべりが好評です。あなたの職場でも「共済カフェ」をきっかけに、まず1人、組合員を増やしましょう。